

フィンテックの取組み

当行は、ITを活用した先進的で利便性の高いサービスの提供に積極的に取り組んでいます。

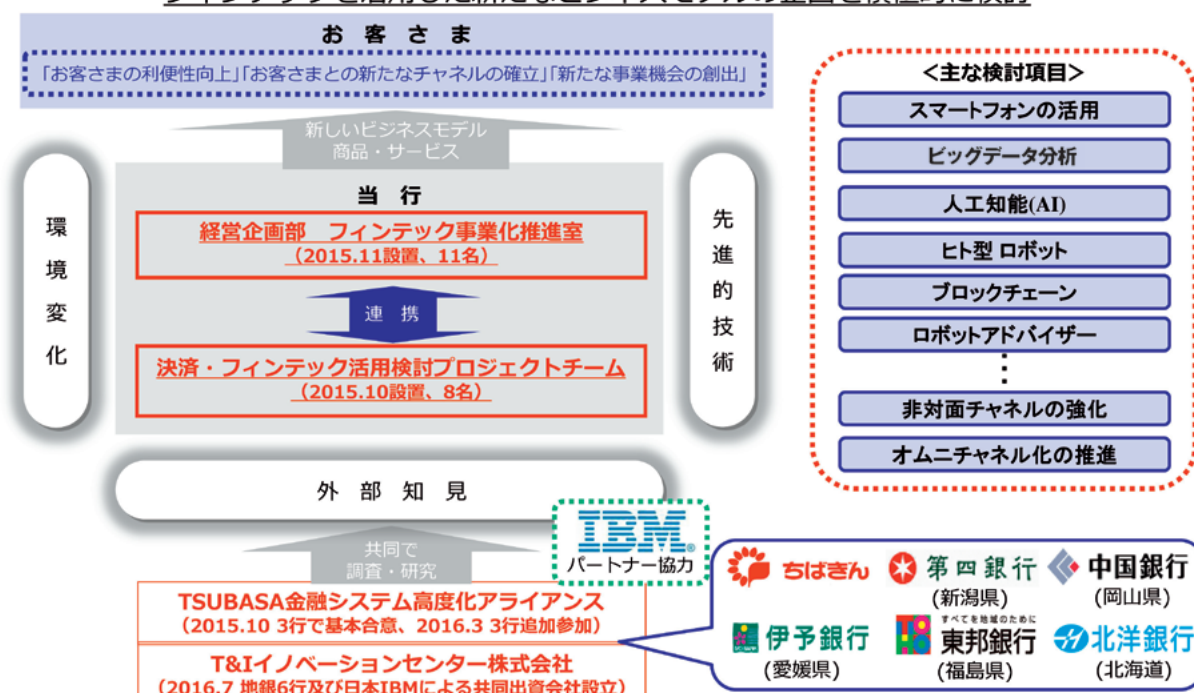
フィンテックとは

金融(Finance)と技術(Technology)を組み合わせた造語で、ITを活用した革新的な金融サービスのことで。近年、急速に普及するスマートフォンやタブレット端末に加え、人工知能やビッグデータ等を金融に取り入れることで、金融サービスに革新をもたらすと期待されている新しい分野です。

推進態勢

千葉銀行のフィンテックへの取組み態勢

フィンテックを活用した新たなビジネスモデルの企画を積極的に検討



「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」の締結

平成27年10月、当行は第四銀行・中国銀行とともに、日本アイ・ビー・エム(株)の協力を得て、フィンテックとその活用について共同で調査・研究を行う組織を立ち上げました。平成28年3月には伊予銀行・東邦銀行・北洋銀行が加わり、現在6行が加盟しています。

「フィンテック事業化推進室」の設置

平成27年11月、フィンテックを活用した新たなビジネスモデルの企画や異業種との連携等を積極的に進めていく専担部署として、経営企画部内に設置しました。公募で選ばれたメンバーに、インターネットバンキング、ホームページなどのチャネル担当者を加えた総勢11名が業務にあたっています。

子会社「T&Iイノベーションセンター(株)」の設立

平成28年7月、「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」加盟行と日本アイ・ビー・エム(株)から出資を受け入れ、フィンテックを活用した金融サービスの企画・開発を行う子会社を設立しました。

これまでの主な取組み

フィンテックベンチャーとの協業

時期	会社名	協業分野
平成27年12月	ゼネリックソリューション(株)	ビッグデータの分析
平成27年12月	freee(株)	企業の経営情報の与信審査・経営モニタリング等への活用
平成28年 5月	ファストメディア(株)	スマートフォン向けアプリ「ちばぎんアプリ」の開発

SNS「LINE」アカウント開設

平成28年3月、当行とお客さまとを結ぶ新しいチャネルとして、「LINE」アカウントを開設しました。オリジナルキャラクターの「ひまりん」がおトクなキャンペーンの案内や地域情報などを随時配信しています。

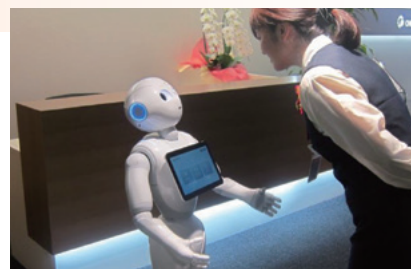


こちらのQRコードを読み込んで登録いただけます。



人型ロボット「Pepper導入支援サービス」の紹介開始

平成28年3月より子会社のちばぎんコンピューターサービス(株)が法人向けに提供しているこのサービスは、Pepperの初期セットアップや業務利用向けのアプリケーション開発などを行います。銀行グループが、お取引先のPepper導入を支援する取組みは全国初となります。



スマートフォン向けアプリ「ちばぎんアプリ」の提供開始

平成28年6月、スマートフォン向けアプリ「ちばぎんアプリ」の提供を開始しました。「ちばぎんアプリ」には、キャンペーン情報やお知らせを最適な場所、最適なタイミングでお届けする位置情報に連動したプッシュ通知や、店舗・ATM・ちばぎんパートナー*の検索、当行のCM動画や広報誌「Lounge(ラウンジ)」の閲覧といったアプリならではの様々な機能を搭載しています。

*対象カードの利用者に対し、ポイント優待や割引などの地域優待サービスを提供する提携企業。



ロボ・アドバイザー「PORT STAR(ポートスター)」の導入

平成28年7月より、お客さまの投資信託銘柄の選定をサポートするロボ・アドバイザー「PORT STAR(ポートスター)」を導入しました。ロボ・アドバイザーは、投資に関する簡単な質問への回答に基づき、コンピューターがリスク許容度を分析して利用者に適したポートフォリオ(資産配分)を提案する仕組みです。当行ホームページより無料でご利用いただけます。